

研究協力をお願い

昭和大学附属烏山病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

なぜ自傷行為は消失したのか—感情調節困難をもつ患者と支援者の相互性—

1. 研究の対象および研究対象期間

2021年2月1日から2021年6月30日までに入院されていた感情調節困難をもつ方。

2. 研究目的・方法

「感情調節困難」と呼ぶ状態は、個人的工夫、薬物療法、従来の精神療法などで感情調節を試みてもなかなか改善しないと言われていています。感情調節が困難だと、衝動的になり自傷、攻撃、依存したりすることで対人関係が不安定になります。しかし、私たち医療者は、感情調節困難をもつ方が感情を制御できるようになった経験をしました。そこで、本研究では、感情調節困難をもつ方がなぜ感情を制御できるようになったのか経過記録を分析しその要因を明らかにすることを目的としています。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、研究機関の長の実施許可を得てから2022年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2021年2月1日から2021年6月30日までに精神科救急病棟に入院されていた感情調節障害をもつ方のデータから、患者背景（性別、年齢、診断名、入院日、転入日、転棟日、退院日、在棟期間、入院期間）、経過記録（自傷行為の有無、NS、CP、PSW、DRとの関わりの中でのその方の語り）を調査対象とします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて本人もしくは本人の代理人の方にご了承頂けない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学附属烏山病院 看護師（A4病棟）

氏名：浦口美穂（研究責任者）

住所：〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

電話番号：03-3300-5231（代表）

